

## ～新年を迎えての願い～

弥生まちづくり協議会会長 山口誠一

2023年の干支は「癸卯（みずのと・う）」です。「癸」は生命が終わり、そして新たな命が始まる「春の手前」を意味し、「卯」はウサギが跳ねるように、大きなステップを踏み出し、草木の芽吹く様子を表します。「癸卯」は「これまでの生活が一区切りし、春が訪れ、草木が成長するように勢いよく飛躍していく年」だそうです。

まちづくり協議会は弥生が丘が「安全で安心して住める街、人にやさしい街」になることを目指していますが、そのためには人と人との交流（多世代交流）を図ることが必要になります。昨年は『やよい夢ひろば』を交流の場として充実するために、モルックやポッチャなど複数のニュースポーツ用具を購入するとともに専用物置、キャンピングテーブルなどを追加設置しました。ニュースポーツ用具やテントは1月から誰でも利用できるようにしています。



まだまだ油断はできないものの、ウイズコロナのもと感染拡大防止に努めつつ、社会・経済活動の充実を図る必要があります。まちづくり協議会としても、子どもたちからお年寄りまでがスポーツ交流できる機会やプロを含めた演奏家による音楽鑑賞会、また気軽に歓談できる憩いの場など多世代交流の場の拡大を考えています。

このような機会を設けることで、皆さんが家から出る機会が増え、地域の人たちとの交流が深まり、「癸卯にふさわしく、弥生が飛躍していく年」になり、皆さんの笑顔を見ることができればと願っています。

## ～明るく住みよい安心・安全のまちづくりを～

## 子どもたちの笑顔いっぱい！

昨年、弥生が丘に子どもたちの笑顔届け、まちを元気にしたいと自治会員の子どもたちを対象に設立した「子ども会」は現在98名の会員が登録しています。

8月には設立記念イベントとして「BBQ&BINGO大会」を、12月には「クリスマスイベント」として、コミセンでクリスマスパーティーを開催、松ぼっくりに飾り付けをして“世界にひとつだけのクリスマスツリー”を作りました。

自治会の役員と保護者の皆さんに準備段階から協力していただき、子どもたちの笑顔あふれる楽しいイベントになりました。

3月25日（土）には「6年生を送る会」を企画しており多くの子どもたちに参加して欲しいと考えております。

地域の皆様には引き続き暖かい目で見守っていただき、弥生が丘が子どもたちの笑顔あふれるまちになるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 自治会子ども会



## ～主催事業から～

### 子どもたちから大人まで～弥生フェス2022～

広報委員会

「弥生フェス」は自治会主催のイベントですが、12月3日には『やよい夢ひろば』で弥生まちづくり協議会が主催し、老人クラブ弥生会、少年野球OB会の協力により、モルックやポッチャなどのニュースポーツが行われました。4日には夢ひろばでは自治会として初の試みである「フリーマーケット」も開催され、地域や学校つながりの仲間、7グループが出店されました。その他、コミセンでは子ども会によるクリスマスパーティー、登録団体の発表など子どもたちから大人まで楽しめた2日間でした。

### 子どもからお年寄りまで多世代でニュースポーツ

弥生まちづくり協議会

12月3日（土）弥生フェス協賛で『やよい夢ひろば』にてニュースポーツを楽しみました。

フィンランド生まれの「モルック」（木のボーリング）、ヨーロッパ生まれのパラリンピック競技「ポッチャ」老人クラブ弥生会が考案した「囲碁ビンゴボール」おなじみの「グランドゴルフ」の計4種の競技を午前中は子どもからお年寄りまでの多世代の皆さん、午後からは子ども会のメンバーがたくさん参加し大いに盛り上がりました。

モルックは長さ約20cm木の棒で、スキttlという番号のついたピンにモルックを投げて、倒したピンの本数やピンに書かれた番号で得点を争う競技です。ボーリングにも似ていて世界選手権も開催されるほどの世界的なスポーツです。

4種のニュースポーツの競技道具は、まち協が管理し住民の皆さんに無料で貸し出しますので、いつでも『やよい夢ひろば』で楽しむことができます。（利用申し込みはコミセンまで）



モルック



ポッチャ



囲碁ビンゴボール



グランドゴルフ

### みんなが楽しめる弥生フリーマーケットに

自治会イベント部

12月4日「弥生フリーマーケット」を開催しました。当日は寒い中、多くの皆さんに参加いただきました。今回は初めての企画でPR不足、出店者募集の遅れ等で準備不足は否めず、多くの方にご迷惑をかけてしまいました。それでも地域や学校つながりの仲間や家に眠っていた日用品、趣味で作った手芸品、自家製野菜等を販売、掘り出し物を手にされ喜んでる方もおられました。皆さんからは「楽しかった」「もう少し暖かい時期にやってほしい」「是非来年もやって欲しい」等々有難い言葉も沢山いただき、次回開催への励みになりました。

フリーマーケットは老若男女問わず誰もが参加でき、地域を活性化するにはもってこいのイベントと考えております。今後、皆さんからいただいた改善点を検討し、より楽しめる「弥生フリーマーケット」にしたいと思っております。是非皆さんのご協力をお願いします。

### フリマのお店



## ～関係団体からのお知らせ～

### 日本三景天橋立と伊根湾めぐり

コロナ禍のため三年ぶり開催となった「ふれあいバス旅行」、10月12日に参加者71名、バス2台で丹後半島を目ざし出発。

目的地である伊根湾では遊覧船に乗るとすぐにカモメの大歓迎を受け、エサやりで夢中に！。海際に並ぶ舟屋の眺めは静かな入り江にあり、歴史を感じさせる独特なものでした。

伊根湾の次は、海から山へ。ケーブルカーに乗り、股のぞきで有名な天橋立傘松公園へ移動しました。頂上ではまさに天に架かる橋を満喫。美味しい昼食に話も弾んだ後はお土産クーポンもあり、買い物を楽しんで帰途へ。皆さん大満足の日でした。

ふれあい協議会委員 西村恭子



### 行ってきました！阿波十郎兵衛屋敷（人形浄瑠璃）、あわじグリーン館

老人クラブ弥生会

～日帰り研修バス旅行～

令和4年11月4日（金）弥生会会員一行39名は大型バス1台で淡路島を目ざし、いざ出発！

最初の立ち寄り先は、兵庫県立淡路夢舞台公苑温室「あわじグリーン館」。参加者は、ほんのりと温かい温室の中に咲き誇る花・花・・・に時間を忘れるほど見とれていました。

グリーン館を後に神戸淡路鳴門自動車道で徳島に入り、今回メインの目的地「阿波十郎兵衛屋敷」に到着。徳島の伝統芸能「人形浄瑠璃」をじっくりと鑑賞しました。

昼食は、ベイリゾートホテルで海の幸たっぷりの料理を堪能。

帰路、お土産屋さん立ち寄り、クーポン券を利用し両手いっぱいのお土産を抱え、全員無事弥生が丘に帰ってきました。会員の皆さん大満足の旅でした。



### ～楽しいひと時～

ふれあい活動推進協議会

12月9日（金）の「ふれあいの集い」に女性コーラス「フラワーエコー」さんに出演いただき、冬のメドレー、クリスマスソングなどを聞かせていただきました。久しぶりのコミセンということもあり、39名の方が参加され、満席になりました。参加者からも「素晴らしい、楽しいひと時」と好評でした。

コロナはまだまだ予断を許さない状況ですが、感染予防に努めながら、弥生が丘のふれあい活動として「ふれあい喫茶」「ふれあいの集い」などを通して地域の皆さん同士のつながりを広げていきます。



### 「とんど焼き」～子どもたちに引き継がれていくことを～ 少年野球コーチOB会 船木雄二

お正月気分が抜けてきた小正月（1月15日）にとんど焼きを行いました。心配していた天気も前日に回復し、準備を進めることが出来ました。祭壇作りは駐車場のアスファルトが熱で痛まないよう鉄板を敷き、土を盛りその上にブロックを積み重ねる大変な作業ですが、今回はOB会に加えて地域の方にも手伝って頂きました。

今年は例年行っている豚汁の振る舞いを中止しましたので少し寂しい中でしたが、多くの方がしめ縄・書き初めなどを持参されました。

なかには「家内安全、家族の無病息災のご利益が授かれる」と自宅の庭などに撒くために、灰を持ち帰られる方もおられました。

また、昨年末にはOB会有志でコミセンの玄関前に飾る門松作りも行いました。

伝統行事が忘れられていく昨今、子どもたちに引き継がれて行くことを願っております。



## ■星空に思いを巡らせた～星空観察会～



11月3日やよいっ子サロン実行委員会に後援していただき、PTA主催で星空観察会を行いました。

当日はPTA10名、小学生15名が参加し、『やよい夢ひろば』で「さんだ天文クラブ」の講師の先生の指導で望遠鏡を使っての星空観察を行い、星空の解説をしていただきました。あいにく少し月が明るかったので夜空いっぱいの星を見ることはできませんでしたが、月のクレーターやウサギの形のような影は、はっきり望遠鏡で確認できました。その他に「木星」「土星」なども観察できました。あたりが暗くなると、ようやく「北極星」や「カシオペア座」も見つけることができました。

講師の方たちの夜空への熱い思いを感じながら、普段見上げることの少ない星空に思いを巡らせる貴重な時間になりました。

「裸眼では見えない月のクレーターや土星の輪が見え、普段感じている疑問や気になっていたことなど楽しく学べる時間になった」「前は望遠鏡で見れなかったけど、今日は見られて嬉しかった」など子どもたちからの感想も多く聞かれ有意義な星空観察会でした。



## ■あなたのカラーは何色？～色と性格の不思議な関係～



11月20日には弥生コミセンで、カラータイプ教育アドバイザーを講師に「自分とは？」を、色を通して直感的・視覚的に理解する。「自分と他人との違いは？」を意識し、他人との違いを認め、コミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする講座を開催しました。

この講座で「色を通して自分とわが子や他人との違いを認識すること」が「自分の常識は他人の常識ではない」、また「自分と他者の違いを認める」第一歩になることを学びました。

参加者からは「色が人の気持ちに影響することなど面白かった」「どの子にも同じように声をかけた時に、響く子とそうでない子がいることが良く分かった」などの感想が聞かれました。

## 街区公園（2・3丁目児童公園）除草作業実施

自治会ほっと841



11月27日（日）ボランティア団体ほっと841のメンバーと、地域有志の住民の皆さんで街区公園の草刈りをしました。この取り組みは、三田市公園みどり課と弥生まちづくり協議会が締結している公園の維持管理の協定に基づき年3～4回実施しているものです。

ロータリーモア（自走式草刈り機）を使用し作業の効率を上げています。（刈払い機の数倍の効率）

今回は、ジブラルタ生命の若手職員10数名が、尼崎支社と三田支社より参加され、ボランティア活動としてお手伝いいただきました。



## 弥生が丘コミュニティセンター

〒669-1546 弥生が丘2丁目21 ☎/Fax：079-562-0434

E-mail：ya54278@xa3.so-net.ne.jp

公式ホームページ閲覧方法＝【弥生が丘自治会】で検索、又はQRコード

